



# 国連生物多様性の10年日本委員会 (UNDB-J)の活動へのご協力のお願い

2011年から2020年までの10年間は、国連の定めた「国連生物多様性の10年」です。COP10(2010.10 愛知県名古屋市)で採択された、新たな世界目標である「愛知目標」の達成に貢献するため、国際社会のあらゆるセクターが連携して生物多様性の問題に取り組むこととされています。

これを受け、国内のあらゆるセクターの参画と連携を促進し、生物多様性の保全と持続可能な利用に関する取組を推進するため、「国連生物多様性の10年日本委員会」(UNDB-J)が2011年9月に設立されました。

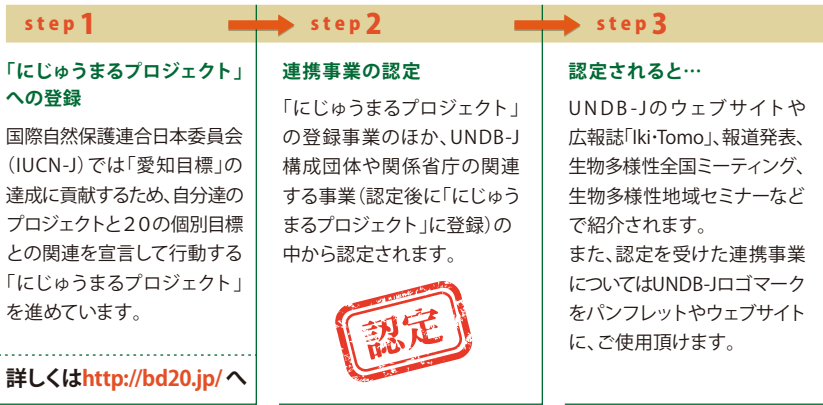
UNDB-Jでは、生物多様性の主流化を目指し、セミナーの開催、UNDB-Jが推奨する事業やツールの選定、主流化推進チームによる広報、普及啓発ツールの作成など、様々な活動を実施しています。

地球のいのちをつないでいくため、また、子どもたちに豊かな自然を残すため、UNDB-Jの活動に対して皆様のご協力を賜りますよう、どうぞよろしくお願いいたします。

# UNDB-J事業へのご協力について

## UNDB-J認定連携事業(にじゅうまるプロジェクト)への登録

- 毎年3月と9月に、UNDB-Jが推奨する連携事業を認定しています。
- 認定された事業は、専用のロゴマークをご使用頂けるほか、セミナーなどで取組をご発表頂く機会を設けています。まずはIUCN-Jが行っている「にじゅうまるプロジェクト」への登録をお願いいたします。愛知目標の20の目標と関連がある事業であれば登録可能です。



## 生物多様性キャラクター応援団への登録

- 2012年9月、UNDB-Jの新たな広報組織として旗揚げし、現在は100近くのキャラクターが登録されています。
- 入団して頂いたキャラクターには、プロフィールシートを作成し、UNDB-Jウェブサイトなどでご紹介いたします。
- また、UNDB-Jからの任命書や、専用の名刺フォーマットもご提供いたします。

▼生物多様性キャラクター応援団集合ポスター



▲プロフィールシート



▲任命書



▲名刺

## Iki・Tomoパートナーズへの参画 [www.facebook.com/UNDBJ](http://www.facebook.com/UNDBJ)

- 生物多様性の主流化、国民運動への足掛かりとして、Facebookを利用したIki・Tomoパートナーズ([www.facebook.com/UNDBJ](http://www.facebook.com/UNDBJ))を立ち上げました。UNDB-Jの活動の趣旨にご賛同頂き、生物多様性の保全や持続可能な利用に向けて自ら行動する個人、団体、事業者の方々をメンバーとして募集しています。
- メンバーの皆様につきましては、専用のロゴマークをご使用頂けるほか、UNDB-Jの最新の活動状況などを情報提供させていただきます。



事業へのご協力について UNDB-J

# UNDB-Jタイアップ事業について

UNDB-Jでは、企業等とタイアップし、生物多様性の普及啓発ツール・アイテムを作成しています。

## 生物多様性マガジン「Iki・Tomo」のタイアップ版

- 一般の方々に生物多様性に関心を寄せて頂くための小冊子を作成し、全国の自治体や博物館などに広く配布しています。
- さらに、**企業等の生物多様性に関する取組の掲載**や、**既存の小冊子とのコラボレーション**など、企業等とのタイアップ企画を実施します。
- 増刷費用の負担、企業の支店・各店舗の設置についてご協力をお願いいたします。

Iki・Tomo Vol.8 「旅と生物多様性」



●タイアップ記事掲載例(株式会社ジェイティーピー)

## 「MY行動宣言 5つのアクション」シートのタイアップ版

「MY行動宣言 5つのアクション」シートタイアップ版のイメージ



▲表面(チェックシート・提出用アンケート面)

▲裏面(持ち帰り部分・取組掲載面)

- 国民一人ひとりが生物多様性との関わりを自分の生活の中でとらえることができるよう、5つのアクションの中から自らの行動を選択して宣言する「MY行動宣言」のシートの活用を広く呼びかけています。
- さらに、**シートの裏面に企業等の生物多様性に関する取組を掲載**して頂いたり、**既存のツールとのコラボレーション**など、企業等とのタイアップ企画を実施します。
- 印刷費用については、企業にご協力をお願いいたします。



# UNDB-J寄付協賛募集事業について

UNDB-Jでは、事業の目的や趣旨に応じて、企業等に寄付協賛を頂きながら事業を実施しています。

UNDB-J  
寄付協賛募集事業について

## UNDB-J推薦子供向け図書「生物多様性の本箱」寄贈プロジェクト

- 2013年3月、幼児から中学生を対象に、生物多様性の推薦図書103点を選定しました。
- 支援者となる企業や団体を募り、各地の活用施設や団体に寄贈するプログラムを行っています(推進事務局:日本自然保護協会)。
- これらの図書のご提供や、寄贈式の実施費用のご負担など、ご支援頂いた皆様につきましては、UNDB-JサポーターとしてUNDB-JのウェブサイトやIki・Tomoパートナーズ(Facebook)でご紹介させて頂くほか、専用のロゴマークをご使用頂くことができます。

▼「生物多様性の本箱」の展示



▼目録と寄贈の木製プレートの贈呈



# UNDB-Jサポーターについて

UNDB-J  
サポーターについて

## UNDB-Jサポーターについて

- UNDB-Jの活動の趣旨にご賛同頂き、活動へのご支援・ご寄付を頂ける個人・企業・団体を、UNDB-Jサポーターとして募集しています。サポーターの皆様については、UNDB-JサポーターとしてUNDB-Jのウェブサイトでご紹介させて頂き、専用のロゴマークをご使用頂けるほか、UNDB-Jの最新の活動状況をはじめ様々な生物多様性に関する情報を提供させて頂きます。

ご支援・ご寄付のお申し込み、お問い合わせ先  
 公益財団法人日本自然保護協会(NACS-J) (担当:管理部)  
 TEL:03-3553-4101(代表) FAX:03-3553-0139  
 E-mail:undbj@nacsj.or.jp

**UNDB-Jサポーター紹介**

**積水樹脂株式会社**  
 「資源は節約・循環、廃棄物はゼロ、環境は改善・保護」  
 積水樹脂グループはかけがえのない地球を、環境破壊・資源枯渇等、地球温暖化問題から保護することを最優先課題とし、「資源は節約・循環、廃棄物はゼロ、環境は改善・保護」をキーワードに新しい環境保護と製品開発・事業行動を通じて「地球と人類の持続的発展」及び「人間性豊かな生活環境作り」に貢献します。

2010年11月より積水造園株式会社(登録商標「造園倶楽部」)と「造園倶楽部つくりパートナー」協定を締結し、継続的に森林保全活動を実施。

2010年に国連生物多様性年国際委員会への寄付の第一号となっており、UNDB-Jの活動に対し積極的に支援。

▲UNDB-Jサポーターのウェブサイトでの紹介例

▼UNDB-Jサポーターのロゴの使用例

◎(企業・団体名、個人の場合は氏)はUNDB-Jサポーターとして◎プロジェクト(寄付・協賛募集プロジェクト名)を支援しています。

詳しくはUNDB-Jウェブサイトをご覧ください ▶▶ <http://undb.jp/>